

解決動画が閲覧世界一

北上・DEセンターの小原さん

米国企業から表彰

立体設計ソフト利用サポート



北上市相去町のいわてデジタルエン
ジニア(DE)育成センター(黒瀬左
千夫センター長)で副センター長を務
める小原照記さん(34)＝同市口内町＝
は、コンピューターの立体設計ソフト
などを手掛けるオートデスク社(米国)
のウェブサイトで、質問に対し投稿
した課題解決動画の閲覧数部門で世界
一となり表彰された。表彰制度は昨年
同社が創設し、日本人の受賞は初めて。
分かりやすい説明が認められ「普段の
指導にも役立てたい」と、技術者育成
への思いを強めている。

小原さんは今年、同社の
3次元コンピューター利用
設計システム(CAD)ソ
フトFusion(フュー
ジョン)360の利便性向
上や課題解決のため、一般
利用者がウェブ上に出した
質問に回答の動画を約12
0件投稿。閲覧数は非公表
だが、同社が世界一として
表彰した。市によると、ほ
かのCADソフトを含めた
同社製品の利用者数は世界
で約2億人とされる。
小原さんは同社が製品の

記念品を手に「さらに勉強してよりよい人
材を育てたい」と意欲を示す小原照記さん

3次元コンピュータ
ー利用設計システム(C
AD) コンピューターを用
いた製図の設計支援システム。
製図データをコンピューター
に取り込むことで立体的設計
が可能。数値の差し替えにも
迅速に対応でき、作業の効率
化や品質向上につながり、も
のづくり企業で設計などに利
用されている。

知識の普及や解決策の揭示
など貢献の高い人を認定す
るエキスパートエリート
の一人。世界で414人、日
本で19人が認定されてお
り、表彰は同エリートが対
象となった。

各社の3次元CADソフ
トは100万～500万円
超まで多彩だが、他のCA
Dの基本機能と互換性があ
るフュージョン360は個
人

は無料、商用は年間4万
円弱で活用でき、入門編と
して利用が拡大している。
小原さんは実技試験を受
け、今年1月に同ソフトの
認定技術者資格を日本人で
初めて取得した。

同センターは製造業など
の企業や児童、生徒、学生
らを対象に県内外で各種C
ADの講習を実施してお
り、小原さんは年間500
人以上を指導する。ソフト
使用者の利便性向上への貢
献が認められた小原さんは
「困っている方に自分の知
識を役立てられうれしい。
操作のつまずきばかり普
段教える際にも生きてい
る。さらに勉強しよりよい
人材を育てたい」と意気込
む。

胆江・北上・花巻地方

◆地域の情報や話題をお寄せください

水沢支社 0197(23)2111
北上支社 0197(65)3447
花巻支社 0198(24)9055

解決動画が「世界一」

〔北上〕北上市相去町のいわてデジタルエンシニア(DE)育成センター副センター長の小原照記さん(34)は、同市口内町在住。米オートデスク社の「AUTODESK2017年優秀エクスペリエント」の最多Screenecast閲覧数部門賞を受賞した。小原さんがユーザー向けに、分かりやすく課題解決策を示したウェブサイトの動画が最も多く再生され、同部門の「世界一」として表彰を受けた。

米国3DCCADDソフト

同社はCAD(コンピュータ利用設計)ソフトの供給会社。3次元CADソフト「Fusion360」は個人や学生は無料、一般も格安で利用できる。世界で約2億人が同社製品を活用。ユーザー向けに投稿型のサポートやラーニングウェブサイトを開設している。同社は、課題解決策の揭示などで貢献度が高い

技術者をエクスペリエントとして認定。世界で414人、うち国内では19人おり、貢献度の高いエリート表彰制度を16年に創設した。小原さんが課題解決に投稿した動画の閲覧回数は非公表だが最多となり、同社から日本人で初めて「世界一」とされた。

小原さんは、ユーザーがウェブ上に出した問い

投稿ユーザー向けにDEいわて小原さん



オートデスク社の最多閲覧数部門賞を受賞し「世界一」に輝いた小原さん

に具体的な解決方法を投稿。機械系を中心にこれまで約120回を数える。「困っている方に、自分の知識を教えて助けてほしい」と語

「思わなかった」と喜びを語る。小原さんは11年にいわてDEに入り、3Dスキルなど3次元全般の講師を務め企業相談にも対応。子供から大人まで、年間500人以上を指導している。ウェブ上の課題解決動画の投稿は「教える上でのスキルアップにつながり、人材育成にも生かせる」と、指

導面でもプラスになっているよう。受賞を機に「よりよい人材の育成に向け、今後も頑張りたい」と決意を新たにす

DEセンターの業務を受託する北上オフィスプラザの菅野俊基社長は「日々勉強し見聞を広げながら、1人2人のところでも出向いて丁寧に教えている。今回もその積み重ねでは、『世界一分かりやすくソフトの使い方』を説明できる人」として、センターの存在価値も高まる」とたたえた。

「解決策動画」で閲覧数最多

北上の小原さん 米ソフト企業から表彰

北上市の職業訓練施設「いわてデジタルエンジンア育成センター」副センター長の小原照記さん(34)が、米国の3次元CAD(コンピューター利用設計)ソフト会社「オートデスク」から優秀エキスパートエリートとして表彰された。

同社は「Fusion360」など、全世界で約2億人が利用する3次元CADソフトを発行している。ユーザーが困った時に投稿するウェブサイトで、小原さんは解決策を示した動画を1年間に約120本投稿。ユーザー閲覧数が最多となり、最多スクリーンキ

ャスト閲覧数部門の世界1位として表彰された。表彰は昨年からはじめ、全12部門あるが、日本人の受賞は初という。小原さんは同センターの主任講師として、小学生が

ら社会人まで年間約500人を指導している。昨年11月には「Fusion360」の実技試験を受け、日本人で初めて認定技術者資格を取得している。今月初めに盾を受け取

った小原さんは「困っている人に自分の知識を伝えることでプラスになれば」と思い、投稿してきた。質問を見ることが、つまづく点、わかりにくい点がわかり、センターで教える上でも役立った」と話した。同センターは「この賞は世界一わかりやすく3次元CADソフトの使い方を説明できるという証しだ」と喜んでいる。

北上のデジタル技術者育成センター

小原・副センター長 CAD利用巡り表彰



北上市のいわてデジタルエンジニア育成センターで副センター長を務める小原照記さん(34)が、コンピュータを使って立体的な設計をする「3次元CAD」の知識共有に貢献した「優秀エキスパートエリート」として、米企業から表彰された。

米オートデスクは、CADソフトの販売会社。商用以外は無料で利用できる「Fusion360」をはじめ世界で約2億人が同社の製品を利用している。同社は、一般ユーザー向

けにソフトの課題解決などを提供する投稿型のウェブサイトも開設。小原さんはここに動画を約120本投稿し、再生回数も最多だった。今年の一最多スクリーンキャスト閲覧数部門「の世界一位に選ばれ、12月上旬に東京で表彰された。

小原さんは主任講師として同センターで年間約500人の大学生や企業関係者らに3次元デジタル技術を指導している。「ソフト利用で困っている人の助けになれば」と思って投稿を始めたが、自分も人がつまずく点やわかりにくい点を理解することができて、講習や人材育成にも役立っている」と表彰を喜んだ。

(溝口太郎)